

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	さくらっ子(放課後等デイサービス)		公表日		R6年 12月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	6	安全面での配慮を心掛けながら、パーティションで工夫したり等、子どもたちの活動のスペースを確保できるようにしています。	学校休業日の利用児童が多い日は狭く感じることがあります。また大人数が苦手な子どもたちが利用になった時に個室がもう少しあればいいのかなと思います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	3	人員配置を常に行い、できる限りの配慮しています。	児童の状態や状況等又は本人特性によっては個別対応が必要になるので職員数が少なく感じる日があります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0	事業所内はバリアフリー化され、車椅子も安全に利用できています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	12	1	毎日の申し送りノートでの確認や引継ぎ等、情報共有を心掛けています。またその日の反省点や引継ぎ等、カンファレンスなどを実施しています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	保護者アンケートを実施して具体的な意見を頂きながら業務改善し、今後も取り組んでいきます。また保護者からの情報やデイからの申し送りを常に実施しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	13	第三者による外部評価は行なっておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1	外部研修にはスキルアップの為に積極的に参加に努めています。また法人内研修で伝達研修を行ったり同法人内の小児リハビリとの情報共有でその都度話し合っ職員員の資質向上に努めています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13	0	児童の様子や成長など気になる点を随時話し合ったりカンファレンスなどで情報共有して保護者の思いや本人の気持ちに寄り添いながら計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	保護者や学校より普段の様子等を聞き取りながら職員間で話し合い、共通理解をして計画書作成に努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1	計画書作成担当を中心に活動を決めて職員で共有しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	季節に応じたプログラムや児童の状況に合わせたプログラムまた個別・集団のプログラムを立案しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13	0	・保護者や学校より、普段の様子等を聞き取りながら作成に当たっています。 ・児童の状況に応じてマンツーマンで支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	0	申し送り・引継ぎを重視し、職員間で周知できるように配慮しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12	1	職員間で打ち合わせをして共有していますが、申し送りノートや支援記録を利用して確認・共有したり随時報告しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	支援の検証・改善につながるよう毎日個人の様子を詳細に支援記録に記入しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0	職員間でモニタリングを行い、計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	13	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0	送迎時に担任より個々のその日の様子を聞いたり、ケース会議に出席したり電話連絡、予定表交換等学校との情報共有・連絡調整を行い、連携を取っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13	0	必要な時は随時連絡をし合い、情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13	0	事業所からの情報の依頼があれば提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	3	専門機関と連携して助言を受けるように努めています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	4	同事業所内に託児・学童があり、交流機会等を定期的に設けています。また地域の交流の時は一緒に参加しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	2	子ども部会等積極的に参加して情報共有しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	送迎時や連絡ノートなどで児童の状況を伝えて家庭や学校での様子等、情報共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	3		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0	契約時等、できるだけわかりやすく説明してご理解を頂けるように努めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0	随時送迎時や電話等、情報交換したり相談支援専門員さんの聞き取り調査に同席して様子を聞いたりして相談を受けられるようにしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	8		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	マニュアルがあり、迅速に対応できるように努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	13	0	今後もホームページやインスタでの情報発信に努めたいと思います。また毎月の活動の様子を写真やコメントを載せて玄関前に大きなパネルを設置して保護者に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0	契約時に説明をしたり、個人情報のマニュアルを作成して事業所内に掲示しています	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	必要に応じて視覚支援等、配慮しながら情報伝達をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	1	市民図書館さんが絵本の貸し出しで来所してくれたり地域の中学校の吹奏楽部が生演奏の開催の為に来所してくれたり、また他の事業所の音楽会に招待されて出掛けたりしています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0	各マニュアルを事業所内に掲示しています。また事業所内研修で伝達、実践研修を毎月行かない周知しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0	業務継続計画（BCP）を策定し、児童は毎月避難訓練を行っています。また年2回は職員による避難・防災訓練を受けています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13	0	保護者とは口頭や連絡帳で状況を毎回連絡を取り合い、学校でも迎え時にてんかん発作等の申し送りを受けて看護師に伝えていて職員とも情報共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	保護者の方々に児童についてのアレルギー調査を行い、医師や看護師とも情報共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	事故等対応マニュアルにて収集した資料等をリスクマネジメント委員会にて精査し、法人内で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0	社外研修に積極的に参加していて法人内や事業所内研修も随時実施しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0			